

ときめき人

Tokimeki bito



「追コーラス『エコー』」は、まだ地域にコーラス団体がなかった1975年に設立。今年7月に開催された「宮城県おかあさん合唱祭」で50年連続出場の表彰を受けた。初代指導者だった菅原文吾さんの「継続は力なり」の教えを胸に歌い続けている。現在指導に当たっている巨理撫子さんは「みんな歌うことが大好きで練習熱心。表情も豊かに表現できるようになってきた」と評価する。

現在は、仙台市で開催されている同合唱祭のほか、県北合唱祭や登米市合唱祭に毎年出演している。今年からは、ボランティア活動で高齢者福祉施設を訪問し、昔を懐かしんでもらいたいと童謡を披露。メンバーは「聴いた人たちが笑顔になってくれたのを見て、合唱の素晴らしさを改めて実感し

ました」と口をそろえる。

練習で特に力を入れているのが発声。何度も基礎的な練習を繰り返すことで、明るく響きのある歌声を目指している。また、歌詞に込められた思いや情景を思い浮かべながら歌うことで、聴く人の心にも響くようなハーモニーを生み出している。代表の阿部くに子さんは「きれいなハーモニーを奏するためには、技術を磨くことはもちろんですが、仲間同士のコミュニケーションが大切だと思います。協力してくれる家族や関係者の皆さんに感謝しながら、健康に気をつけてこれからも活動していきたいです」と笑顔で話す。

多くの人に歌声を届け続けて50年。これからも歌声に乗せて感動を届ける。

編集後記

▼石川県能登地方で、大雨による大規模な災害が9月に発生しました。被災された皆様におかれましては、一刻も早く復旧し、平穏な日々に戻られることを心よりお祈りしております。（広報広聴係一同）

▼市の総合防災訓練を取材してきました。皆さん、いつ起きるか分からない大規模災害に備えて、情報や知識を身に付けておきましょう。▽今月号は、添田が長期研修のため不在でした。「広報のことは気にせず、頑張ってきたね」と送り出したものの、毎日「うわーん、仕事が終わらないよ。添田さん、早く帰ってきて」という心境でした。あーしんどかった。（渡邊）

▼人生初のコロナに感染。回復後は、エネルギーシユな小中高生を取材して元気をもらいました。▽9月は渡邊と共に多忙の毎日。タイムマシーンにでも乗ったかのように、あっという間に1カ月が過ぎ去りました。ただ単に歳のせいかもしれないけど……（高橋）